

新しい年にかける思い



朝日町長
田代 兼二朗

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、希望に満ちた新年を迎えたこととお慶び申し上げます。

昨年は、朝日町にとっても念願の人口一万人を達成することができ記念の年でもありました。

また、今年は町制60周年を迎える年でもあり各種イベントに冠をつけ、その都度60周年を皆様とともに祝いたいと思っています。

さて国政は、ねじれ国会が解消され安倍政権はアベノミクスで三本の矢を次々と放ち、デフレからの脱却をはかるべく大胆な金融緩和で、株価は上昇、景気は上向いたかと見えますが、実感として私達の足元には及んでいないのも事実です。一方で、いよいよ今年4月からは消費税が8%となり、将来の医療、福祉のためとはいえ、先行の暮らしは不透明で不安がつきまといいます。こんな時こそ地方が頑張る時ですが、再度合併をうながす道州制の導入を政府は考えています。昨年末に、特定秘密保護法案を強引に通した強大与党だけに憲法改正まで一気に進みそうです。改めて國のあり方、地方のあり方を皆様と一緒に考える年にしたいと思っています。

『温故知新』この言葉は、ことあるごとに勇気をもらい前へ進んでくることができました。そのような意味で町制60周年の時をスタートに改めて町史の編纂を本格的にすすめるべく準備をしてきました。これまでの朝日町の宝を掘り起こし、現在の皆様の新しい知恵が融合する、そんな町史と一緒に編むことができればと思っています。

平成26年1月吉日